

【FdData 中間期末：中学社会歴史：飛鳥】

[\[聖徳太子の政治改革／飛鳥文化／大化の改新／白村江の戦い／壬申の乱／総合問題／FdData 中間期末製品版のご案内\]](#)

[\[FdData 中間期末ホームページ\]](#) 掲載の pdf ファイル(サンプル)一覧

※次のリンクは[Shift]キーをおしながら左クリックすると、新規ウィンドウが開きます

社会：[\[社会地理\]](#)，[\[社会歴史\]](#)，[\[社会公民\]](#) ([Shift]+左クリック)

理科：[\[理科 1 年\]](#)，[\[理科 2 年\]](#)，[\[理科 3 年\]](#) ([Shift]+左クリック)

数学：[\[数学 1 年\]](#)，[\[数学 2 年\]](#)，[\[数学 3 年\]](#) ([Shift]+左クリック)

※全内容を掲載しておりますが、印刷はできないように設定しております

【】 聖徳太子・飛鳥文化

【】 聖徳太子の政治改革

[朝鮮半島の動乱と隋の中国統一]

[問題](1 学期期末改)

6 世紀になると、朝鮮半島では、新羅や百済が勢力を強め、新羅は、大和政権と深い交流のあった伽耶(任那)地域の国々をほろぼした。

6 世紀末には、中国で(X)が国内を統一し、大帝国をつくった。(X)は従わなかった高句麗に軍隊を送るなどしたために、東アジアの周辺諸国の中で緊張が高まった。文中の X に適語を入れよ。



[解答欄]

[解答]隋

[解説]

6 世紀になると、朝鮮半島では、新羅^{しらぎ}や百済^{くだら}が勢力を強め、特に新羅は、大和政権と深い交流のあった伽耶^{かや}(任那^{みまな})地域の国々をほろぼした。6 世紀末には、中国で隋^{ずい}が国内を統一し、

[朝鮮半島など]
新羅：伽耶の国々をほろぼす
隋：国内を統一

大帝国をつくった。隋は従わなかった高句麗^{こうくり}に軍隊を送るなどしたために、東アジアの周辺諸国の中で緊張が高まった。



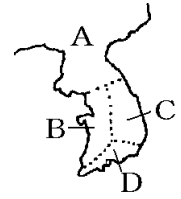
※出題頻度：「新羅が伽耶の国々をほろぼす△」「隋○」

(頻度記号：◎(特に出題頻度が高い)，○(出題頻度が高い)，△(ときどき出題される))

[問題](1 学期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 6 世紀の朝鮮半島で、大和政権と深い交流のあった伽耶地域の国々をほろぼしたのは何という国か。①国名を答えよ。②また、その国の位置を右図の A～D から選べ。
- (2) 中国で、6 世紀の末に南北朝を統一して強大な帝国が生まれた。何という国か。



[解答欄]

(1)①	②	(2)
------	---	-----

[解答](1)① 新羅 ② C (2) 隋

[聖徳太子が摂政となる]

[問題](1 学期期末改)

次の文章中の①，②に適語を入れよ。

6 世紀後半，大和政権の中では，有力豪族たちが次の大王をだれにするかをしばしば争っていた。その中で，渡来人と結び付き，新しい知識と技術を活用した蘇我氏(蘇我馬子)が，物部氏をほろぼして勢力を強め，593 年に女性の(①)天皇を即位させた。飛鳥地方(奈良盆地南部)で政治をとった(①)天皇の下，おいの(②)が摂政となり，蘇我馬子と協力し，中国や朝鮮に学びながら，大王(天皇)を中心とする政治の仕組みを作ろうとした。

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 推古 ② 聖徳太子(厩戸皇子)

[解説]

6 世紀後半，大和政権の中では，有力豪族たちが次の大王をだれにするかをしばしば争っていた。その中で，渡来人と結び付き，新しい知識と技術を活用した蘇我氏(蘇我馬子)が，物部氏をほろぼして勢力を強め，593 年に女性の推古天皇を即位させた。飛鳥地方(奈良盆地南部)で政治をとった推古天皇の下，おいの聖徳太子(厩戸皇子)が摂政となり，蘇我馬子と協力し，中国や朝鮮に学びながら，大王(天皇)を中心とする政治の仕組みを作ろうとした。

[聖徳太子が摂政となる]
 聖徳太子が推古天皇の摂政になる
 蘇我馬子と協力して政権をにぎる



※「摂政」の語句を削除した教科書もある。

※出題頻度：「推古天皇◎」「聖徳太子(厩戸皇子)◎」「摂政△」「蘇我馬子(蘇我氏)○」

[問題](前期期末)

6世紀後半のできごとについて、次の各問いに答えよ。

- (1) 渡来人と結び付いて新しい知識と技術を活用し、物部氏をほろぼして勢力を強めたのは誰か。
- (2) 593年に即位した女帝は誰か。
- (3) (2)のおいで、(1)と協力して政治改革を進めたのは誰か。

[解答欄]

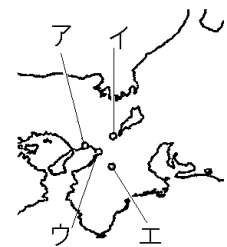
(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) 蘇我馬子 (2) 推古天皇 (3) 聖徳太子(厩戸皇子)

[問題](1学期中間)

次の各問いに答えよ。

- (1) 587年に対立する物部氏をほろぼしたのは誰か。
- (2) 593年に即位した天皇の名前を答えよ。
- (3) 聖徳太子は(2)の天皇によって何という役職に任じられたか。
- (4) 「聖徳太子」はのちの時代につけられた名前である。この当時は何と呼ばれていたか。「〇〇皇子」という形で答えよ。
- (5) このころ、政治の中心であった飛鳥地方を、右の地図中のア～エから1つ選び、記号で答えよ。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)			

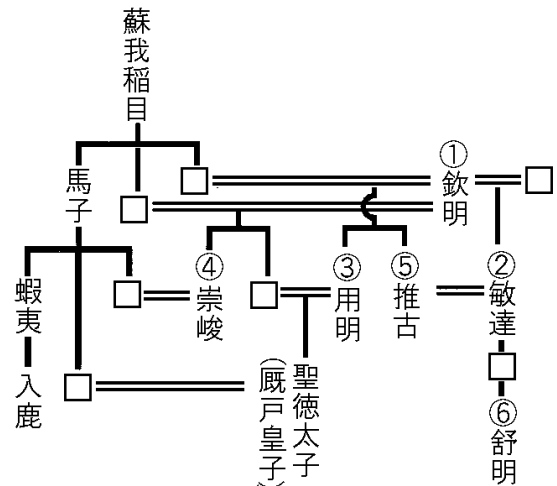
[解答](1) 蘇我馬子 (2) 推古天皇 (3) 摂政 (4) 厩戸皇子 (5) エ

[天皇家と蘇我氏の家系図の問題]

[問題](1 学期期末)

右の系図は、天皇家を中心としたものである。次の各問いに答えよ。

- (1) 聖徳太子や推古天皇と親戚関係にあった豪族は何氏か。右図を参考に答えよ。
- (2) 聖徳太子は推古天皇の何にあたるか。



[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 蘇我氏 (2) おい

[解説]

問題の家系図のように、大王(天皇)家と蘇我氏は密接な親戚関係にあった。蘇我馬子の姉妹(図の□)は欽明天皇の妃で、その間に生まれた推古天皇は馬子のめいにあたる。推古天皇の兄弟にあたる用明天皇の子どもが聖徳太子なので、聖徳太子は推古天皇のおいになる(推古天皇は聖徳太子のおばである)。また、蘇我馬子は聖徳太子にとって、父方・母方双方の大おじ(祖母の兄弟)である。聖徳太子は、蘇我馬子の娘を妃に迎えており、2人は婿と舅の関係でもある。

※出題頻度：「天皇家と蘇我氏の家系図の問題〇」

[問題](3 学期)

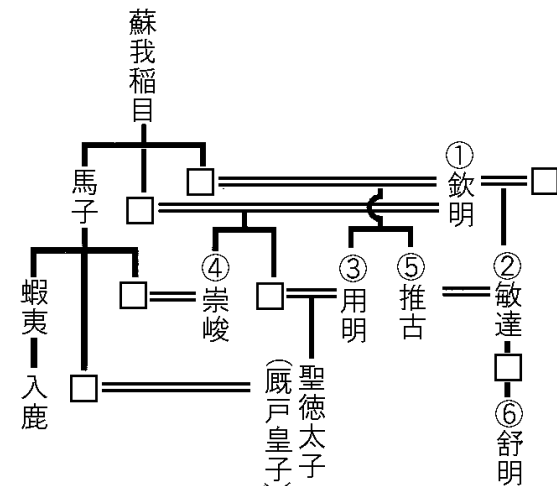
右の系図について、次の各問いに答えよ。

- (1) 推古天皇のおじにあたる人物は誰か。
- (2) 聖徳太子の父にあたる人物は誰か。
- (3) 推古天皇は聖徳太子の何にあたるか。

[解答欄]

(1)	(2)
(3)	

[解答](1) 蘇我馬子 (2) 用明天皇 (3) おば



[冠位十二階]

[問題](1 学期期末改)

聖徳太子は、天皇を中心とした国づくりを行うために、603年に(X)を、604年に十七条の憲法を定めた。(X)は役人の位を冠の色で区別するもので、才能や功績のある人物を役人に取り立てるための制度であった。文中の X に適語を入れよ。

[解答欄]

--

[解答]冠位十二階

[解説]

聖徳太子は、天皇を中心とした国づくりを行うために、603年に^{かんいじゅうにかい}冠位十二階を、604年に^{けんぽう}十七条の憲法を定めた。冠位十二階は、役人の位を冠の色(紫色が最高位)で区別する制度で、家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人に取り立てようとするものであった。

[冠位十二階]

家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人に取り立てるための制度

天皇を中心とした国づくり

※出題頻度：「冠位十二階◎」「家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人に取り立てるため◎」「天皇を中心とした国づくりを行うため○」

[問題](後期中間)

聖徳太子は、冠の色などで地位を区別する制度を定めた。①この制度を何というか。

②また、この制度を定めた理由を次のア～エから1つ選び記号で答えよ。

ア 役人の心がまえを確認するため。

イ 中国の進んだ文化や政治制度を取り入れるため。

ウ 仏教を世の中に広げるため。

エ 家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人に取り立てるため。

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 冠位十二階 ② エ

[問題](2 学期中間)

聖徳太子が制定した、冠位十二階の制度の目的を「家柄」「才能や功績」という語句を使って簡潔に説明せよ。

[解答欄]

--

[解答]家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人に取り立てるため。

[問題](後期中間)

聖徳太子は様々な政策を通して、どのような国づくりを目指していたと考えられるか。「中心」という語を用いて簡潔に説明せよ。

[解答欄]

--

[解答]天皇を中心とした国づくり。

[十七条の憲法]

[問題](2学期中間)

次の資料について、後の各問いに答えよ。

一に曰く、和をもって貴しとなし、さからう(争う)ことなきを宗と(第一に)せよ。

二に曰く、あつく三宝を敬へ。三宝とは(X)・法(仏教の教え)・僧なり。

三に曰く、詔(天皇の命令)をうけたまわりては必ずつつしめ(守れ)。

(1) 役人の心構えを示したこの資料は何か。

(2) 資料中の X に適語を入れよ。

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 十七条の憲法 (2) 仏

[解説]

[十七条の憲法]

役人の心構えを示した 聖徳太子が制定

一に曰く、和をもって貴しとなし、さからうことなきを宗とせよ(争いをやめよ)

二に曰く、あつく三宝を敬え。三宝とは仏・法・僧なり (仏教を重んじよ)

三に曰く、詔をうけたまわりては必ずつつしめ (天皇の命令に従え)

聖徳太子は、604年に十七条の憲法を定め、仏教を重んじるべきことや天皇の命令に従うべきことなど、役人の心構えを示した。

「一に曰く、和をもって貴しとなし、さからう(争う)ことなきを宗とせよ」とは「和を尊び、争いをやめよ」という意味である。この記述からも、当時、豪族間の対立が激しかったことがわかる。

「二に曰く、あつく三宝を敬え。三宝とは仏・法・僧なり」とは「仏教を重んじよ」という意味である。聖徳太子は、仏教をさかんにすることで豪族間の対立をやわらげ、仏教を共通の信仰として国家の統一をはかろうとした。

「三に曰く、詔をうけたまわりては必ずつつしめ」とは「天皇の命令を受けたときは、必ずこれに従え」という意味である。

この当時、天皇(大王)^{おおきみ}の命令(詔)が必ずしも守られていなかったことがうかがえる。

※このころの大和政権は、豪族の連合政権であり、天皇(大王)の権力は絶対的なものではなかった。聖徳太子は、これを改めて、天皇を中心とする体制をめざしたのである。しかし、実際に、天皇中心の国家ができるのは、大化の改新(645年)と壬申の乱(672年)以降であった。

※出題頻度：「聖徳太子○」「十七条の憲法◎」「役人の心得を示すため○」

「和○をもって貴しとなし」「三宝とは仏○・法・僧なり」「詔△をうけたまわりては」

[問題](前期期末)

次の資料について、後の各問いに答えよ。

一に曰く、(①)をもって貴しとなし、さからうことなきを宗とせよ。

二に曰く、あつく三宝を敬え。三宝とは(②)・法・僧なり。

三に曰く、詔をうけたまわりては必ずつつしめ。

(1) 資料は何の一部か。

(2) 資料はだれの心構えを示したもののか。漢字2字で答えよ。

(3) 資料中の①、②にそれぞれ漢字1字を入れよ。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)①	②
-----	-----	------	---

[解答](1) 十七条の憲法 (2) 役人 (3)① 和 ② 仏

[問題](1学期期末)

次の各問いに答えよ。

(1) 次は聖徳太子が定めた十七条の憲法の一部である。①～④に適語を入れよ。

一に曰く、(①)をもって貴しとなし、さからうことなきを宗とせよ。

二に曰く、あつく(②)を敬え。(②)とは(③)・法・僧なり。

三に曰く、(④)をうけたまわりては必ずつつしめ。

(2) 十七条の憲法はどのような目的で定められたが、「役人」という語句を使って書け。

[解答欄]

(1)①	②	③	④
(2)			

[解答](1)① 和 ② 三宝 ③ 仏 ④ 詔 (2) 役人の心構えを示す目的。

[問題](後期中間)

次の資料を見て、後の各問いに答えよ。

一に曰く、(a)をもって貴しとなし、さからうことなきを宗とせよ。

二に曰く、あつく b 三宝を敬え。…

三に曰く、c 詔をうけたまわりては必ずつつしめ。

- (1) この資料は何か。
- (2) (1)を制定した人物名を答えよ。
- (3) (2)の人物とともに、仏教を広めようとしたのは何氏か。
- (4) 資料は何世紀の初めに制定されたか。
- (5) 資料中の a の()内に適する漢字 1 字を答えよ。
- (6) 資料中の下線部 b の三宝とは何か。すべて、漢字で答えよ。
- (7) 下線部 c の詔とは何か。
- (8) 資料は誰のための心構えであるか。
- (9) (2)の人物は資料のような政策などを通して、どのような国づくりを目指していたと考えられるか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)	(6)	(7)	(8)
(9)			

[解答](1) 十七条の憲法 (2) 聖徳太子 (3) 蘇我氏 (4) 7世紀初め (5) 和
(6) 仏, 法, 僧 (7) 天皇の命令 (8) 役人 (9) 天皇を中心とした国づくり。

[遣隋使]

[問題](前期期末)

中国では 6 世紀の末に、隋が南北朝を統一して強大な帝国をつくりあげた。聖徳太子は、隋の進んだ制度や文化を取り入れるために、小野妹子などを隋に派遣したが、この使節を何というか。

[解答欄]

[解答]遣隋使

【解説】

589年に隋が中国を統一し、強大な帝国をつくりあげた。

聖徳太子は、607年に、隋の進んだ制度や文化を取り入れるために、小野妹子を遣隋使として派遣した。遣隋使が持ち帰った中国の文化により、日本ではじめての仏教文化が栄えた。

隋が滅びた後、618年に唐が中国を統一した。

※出題頻度：「小野妹子◎」「遣隋使◎」「隋○」「唐△」

【対外関係】

589年 隋が中国を統一

607年 遣隋使 (小野妹子)

618年 唐が中国を統一

【問題】(1 学期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 中国で、6世紀の末に南北朝を一して強大な帝国が生まれた。何という国か。
- (2) 聖徳太子は進んだ文化や制度を取り入れようと(1)の国へ使節を送り、対等な外交関係を結ぼうとした。この使節を何というか。
- (3) (2)の使節として送られた人物は誰か。1人あげよ。

【解答欄】

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

【解答】(1) 隋 (2) 遣隋使 (3) 小野妹子

【問題】(1 学期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 聖徳太子が遣隋使として送った人物名を答えよ。
- (2) 遣隋使を送った目的を説明せよ。
- (3) 隋にかわって、618年に中国を統一した王朝の名前を書け。

【解答欄】

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

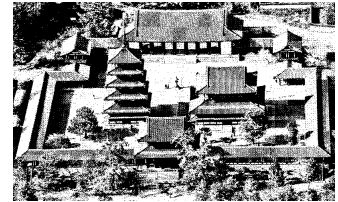
【解答】(1) 小野妹子 (2) 隋の進んだ政治のしくみや文化を取り入れるため。 (3) 唐

【】 飛鳥文化

[問題](1 学期期末改)

次の文章中の①，②に適語を入れよ。

6 世紀の半ばに朝鮮半島から伝わった仏教は，聖徳太子と蘇我氏が仏教を重んじるようになったため，飛鳥地方とその周辺に(①)寺(右図)などの寺がいくつも造られるようになった。



(①)寺は聖徳太子が建てた寺院で，現存する世界最古の木造建築である。こうして，飛鳥地方を中心に日本で最初の仏教文化

が栄えたが，これを(②)文化といい，(①)寺の釈迦三尊像や広隆寺の弥勒菩薩像がその代表とされている。これらは，おもに朝鮮半島からの渡来人の子孫によってつくられたため，南北朝時代の中国や，さらに遠くインドや西アジアなどの文化の影響を受けている。

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 法隆 ② 飛鳥

[解説]

6 世紀の半ばに朝鮮半島の百濟から伝わった仏教は，初めは渡来人とらいじんや蘇我氏そがしを中心に信仰しんこうされていたが，聖徳太子と蘇我氏が仏教を重んじるようになったため，飛鳥地方とその周辺あすかに寺がいくつも造られるようになった。それまでの古墳にかえて，

[飛鳥文化]

日本で最初の仏教文化

法隆寺 : 釈迦三尊像など

寺を造ることで自分の権力を示そうとする者も現れるようになった。前方後円墳は，このころを最後に造られなくなった。

聖徳太子が建てた法隆寺ほうりゅうじは，一度焼失しょうしつし，その後，再建されたが，現存する世界最古の木造建築である。飛鳥地方を中心に日本で最初の仏教文化が栄えたが，これを飛鳥文化あすかといい，法隆寺の釈迦三尊像しゃかさんぞんぞうや広隆寺の弥勒菩薩像みろくぼさつぞうがその代表とされている。これらは，おもに朝鮮半島からの渡来人とらいじんの子孫しそんによってつくられたため，南北朝時代の中国や，さらに遠くインドや西アジアなどの文化の影響を受けている。



聖徳太子
の肖像画



法隆寺



法隆寺の釈迦三尊像



広隆寺の
弥勒菩薩像

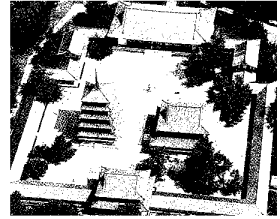
※出題頻度：「法隆寺◎」「飛鳥文化◎」「日本で最初の仏教文化○」「古墳から寺院へ△」

「釈迦三尊像△」「弥勒菩薩像△」

[問題](1 学期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 右図の寺を何というか。
- (2) (1)の寺ができた時代の文化を何というか。
- (3) (2)の文化の特徴を「最初」という語句を使って簡潔に説明せよ。
- (4) 次の文中の()内から適語を選べ。



建立に高い技術や経済力を必要とする寺院は、それまでの(古墳／土偶／鉄剣／金印)に代わり、有力者や豪族の権威を示す象徴として重視された。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
(4)		

[解答](1) 法隆寺 (2) 飛鳥文化 (3) 日本で最初の仏教文化である。 (4) 古墳

[問題](2 学期期末)

次の A～D の資料について、後の各問いに答えよ。



- (1) 写真 A の人物名を答えよ。
- (2) 写真 B は A の人物が建てた寺である。この寺の名前を答えよ。
- (3) 次は、(2)の建築物に関する説明である。①，②にあてはまる語句をそれぞれ答えよ。
(①)で造られた建築物としては、世界で最も(②)とされている。
- (4) (2)がつくられたころの文化を何というか。
- (5) (4)の文化について説明した次のア～エの文の中で、間違っているものを1つ選べ。
ア 日本で最初の仏教文化である。
イ この文化を広めた人たちとして、聖徳太子，蘇我氏，物部氏がいる。
ウ 仏像などを見ると，中国や朝鮮の影響を大きく受けていることがわかる。
エ このころ豪族たちは，古墳に代わって寺を建造するようになった。
- (6) C, D の写真は飛鳥文化の代表的なものである。C, D の作品名を下の[]からそれぞれ選べ。

[法隆寺金堂の壁画 広隆寺の弥勒菩薩像 法隆寺の釈迦三尊像]

[解答欄]

(1)	(2)	(3)①	②
(4)	(5)	(6)C	
D			

[解答](1) 聖徳太子 (2) 法隆寺 (3)① 木 ② 古い (4) 飛鳥文化 (5) イ
(6)C 法隆寺の釈迦三尊像 D 広隆寺の弥勒菩薩像

[解説]

(4) イが誤り。物部氏は仏教の導入に反対し、蘇我氏と対立した。

[問題](2 学期中間)

右の写真は、左側が韓国の、右が日本の仏像である。よく似たデザインであるのはどうしてか。「右の日本の仏像は、」という書き出しで、「渡来人」という語句を使って簡潔に説明せよ。



[解答欄]

[解答]右の日本の仏像は、朝鮮半島からの渡来人の子孫によってつくられたものであるから。

【】 東アジアの緊張と律令国家への歩み

【】 大化の改新

[問題](前期期末)

645年、中大兄皇子は中臣鎌足(のちの藤原鎌足)などとともに蘇我蝦夷・入鹿の親子をたおし、帰国した留学生などの協力を得ながら、公地・公民など新しい政治のしくみをつくる改革を始めた。この改革を何というか。

[解答欄]

--

[解答]大化の改新

[解説]

隋は、7世紀の初めには、高句麗への攻撃の失敗などが原因で滅び、新たに唐が中国を統一した。7世紀の中ごろ、唐は高句麗を攻撃し、朝鮮半島の緊張が高まっていた。日本でも、戦争に備え、天皇中心の強力な中央集権国家づくりを急ぐ必要があった。

しかし、聖徳太子の死後、蘇我氏は聖徳太子の一族をほろぼして大きな力をふるっており、中央集権国家とはほど遠い状態だった。そこで、中大兄皇子(のちの天智天皇)と中臣鎌足(のちに藤原鎌足)は、645年に蘇我氏(蘇我蝦夷・蘇我入鹿の親子)をほろぼして実権をにぎり、改革を始めた。中大兄皇子は、大化という年号を定め、翌年、全国の土地と人々を国家のものとし、天皇がそれを支配するという公地・公民の方針を打ち出した。また、都は難波(大阪府)に移された(難波宮)。この一連の改革を大化の改新という。(大化の改新むし殺し(645))
※出題頻度：「大化の改新◎」「中大兄皇子◎」「中臣鎌足◎」「蘇我氏○」「公地・公民◎」

[大化の改新(645年)]

中大兄皇子, 中臣鎌足が
蘇我氏を滅ぼす

→ 公地・公民などの改革

[問題](1学期期末)

次の文章中の①～③に適語を入れよ。

7世紀の中ごろになると、蘇我氏の独裁的な政治に対する不満が高まってきた。(①)(のちの天智天皇)は、中臣鎌足(のちの藤原鎌足)らとともに645年、蘇我氏を倒し、一連の政治改革を始めた。この改革を(②)という。この改革では、豪族が支配していた土地と人々を国家が直接支配する(③)の方針が打ち出された。また、都は難波宮に移された。

[解答欄]

①	②	③
---	---	---

[解答]① 中大兄皇子 ② 大化の改新 ③ 公地・公民

[問題](1 学期中間)

次の各問いに答えよ。

- (1) 聖徳太子の死後、勢いをふるった豪族は何氏か。
- (2) 645 年、(1)の豪族をほろぼし、後に即位して天皇(天智天皇)になった人物は誰か。
- (3) (2)に協力して政治改革を進めた人物で、後の藤原氏の祖先にあたる人物は誰か。
- (4) (2)や(3)の人物が行った政治改革を何というか。
- (5) (4)で、全国の土地と人々を国家のものとする方針が示されたが、これを何というか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)			

[解答](1) 蘇我氏 (2) 中大兄皇子 (3) 中臣鎌足 (4) 大化の改新 (5) 公地公民

[問題](後期中間)

次の文を読んで、後の各問いに答えよ。

(①)年、(②)と中臣鎌足らは a 蘇我氏をほろぼした。そして、b 公地公民の命令を出すなど、天皇中心の国づくりをめざす c 改革に着手した。

- (1) 上の文の①には数字、②にはあてはまる人物名を入れよ。
- (2) ②の人物は後に即位して何天皇になったか。
- (3) 下線部 a に関し、ほろぼされた蘇我氏一族の代表的人物 2 人を書け。
- (4) 下線部 b の内容を「土地」「人々」「国家」の言葉を使って説明せよ。
- (5) 下線部 c の改革を何というか。
- (6) (5)の改革で移された都を何というか。
- (7) 中臣鎌足が、蘇我氏を倒した功績により与えられた姓(名字)は何か。漢字 2 字で書け。
- (8) ①の年に日本で初めて定められた年号を何というか。

[解答欄]

(1)①	②	(2)	
(3)	(4)		
(5)	(6)	(7)	(8)

[解答](1)① 645 ② 中大兄皇子 (2) 天智天皇 (3) 蘇我蝦夷, 蘇我入鹿
 (4) 全国の土地と人々を国家のものとする。 (5) 大化の改新 (6) 難波宮
 (7) 藤原 (8) 大化

【】白村江の戦い

[問題](2 学期中間改)

大化の改新の政治改革が行われていたころ、朝鮮半島では、新羅が唐と結んで百済をほろぼした。中大兄皇子は百済を助けるために大軍を送ったが、(X)の戦いで新羅と唐の連合軍に敗れた。中大兄皇子は、唐や新羅の侵攻に備え、大宰府を守るために水城と大野城を築き、また防人という兵士を配置した。中大兄皇子は都を大津宮に移し、即位して天智天皇となり、国内の改革に専念した。文中の X に適語を入れよ。

[解答欄]

[解答]白村江

[解説]

隋は、7 世紀の初めには、高句麗への攻撃の失敗などが原因で滅び、新たに唐が中国を統一した。7 世紀後半、朝鮮半島では新羅が統一にのりだし、唐と連合して百済をほろぼした。百済ではそののちも豪族が兵を集めて唐や新羅の軍に抵抗し、日本に救援を求めてきた。中大兄皇子は、百済を助けるために大軍を送ったが、663 年の白村江の戦いでやぶれ、

以後、朝鮮半島から手を引いた。中大兄皇子は、唐や新羅の侵攻に備え、大宰府を守るために水城と大野城を築き、また防人という兵士を配置した。中大兄皇子は都を大津宮に移し、即位して天智天皇となり、国内の改革に専念した。新羅はそののち、唐と連合して高句麗もほろぼし、さらに 676 年には唐の勢力を追い出して、朝鮮半島を統一した。

※出題頻度：「新羅(地図)○と唐(地図)△」が「百済(地図)○」を滅ぼす「白村江の戦い○」「中大兄皇子→天智天皇○」「水城と大野城△」「防人△」

[白村江の戦い]

新羅が唐と結んで、百済をほろぼす

↓

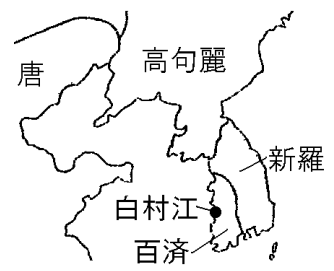
中大兄皇子、大軍を送る

663年 白村江の戦い

↓ 新羅と唐の連合軍に敗れる

水城と大野城を築き、防人を配備

中大兄皇子：即位して天智天皇



[問題](前期期末)

次の文章中の①～③に適語を入れよ。

7 世紀の半ば、朝鮮半島では新羅が唐と結んで(①)をほろぼした。中大兄皇子は、(①)を助けるために大軍を送ったが、663 年の(②)の戦いでやぶれ、以後、朝鮮半島から手を引いた。中大兄皇子は都を大津宮に移し、即位して(③)天皇となった。

[解答欄]

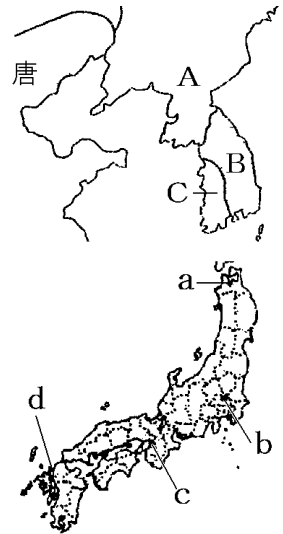
①	②	③
---	---	---

[解答]① 百済 ② 白村江 ③ 天智

[問題](2 学期期末改)

663年に日本はア朝鮮半島のある国を助ける目的で朝鮮半島に軍を派遣したが、唐とイ朝鮮半島のある国の連合軍に敗れた。次の各問いに答えよ。

- (1) この戦いを何というか。
- (2) 朝鮮半島に軍を派遣した人物(後に天皇になる)は誰か。
- (3) 下線部アの「ある国」とはどこか。①国名を答えよ。②その国の位置を右のA～Cから選べ。
- (4) 下線部イの「ある国」とはどこか。①国名を答えよ。②その国の位置をA～Cから選べ。
- (5) (2)は、(1)の戦いの後、水城と大野城、西日本の各地に山城を築いた。①その目的は何か。②大野城や水城が築かれた地域を右の地図中のa～dから1つ選び、記号で答えよ。③また、この戦いの後、九州北部に配備された兵士を何というか。
- (6) (2)は都を大津宮に移し、即位して何という天皇となったか。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)①	②
(4)①	②	(5)①	
②	③	(6)	

[解答](1) 白村江の戦い (2) 中大兄皇子 (3)① 百済 ② C (4)① 新羅 ② B
 (5)① 唐や新羅の侵攻に備えるため。 ② d ③ 防人 (6) 天智天皇

[問題](後期中間)

次の文章中の①～⑧に適語を入れよ。

7世紀の初め、隋が滅んだあと中国を統一したのは(①)だった。朝鮮半島では(②)が力をつけてきた。7世紀の半ば、朝鮮半島では(②)が(①)と結んで百済をほろぼした。中臣鎌足とともに大化の改新を行った(③)を中心とする朝廷は百済の復興を助けるために多くの兵と物資を船で送った。日本と(①)・(②)連合軍との戦いは、663年、朝鮮半島南西部の(④)でおこなわれ、日本側の大敗北に終わった。(①)や(②)の襲来をおそれた(③)は、北九州の海辺の守りのために(⑤)という兵士を配置し、大宰府の防備のために水城や(⑥)城を築いた。(③)は都を(⑦)宮に移し、即位して(⑧)天皇となった。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧

[解答]① 唐 ② 新羅 ③ 中大兄皇子 ④ 白村江 ⑤ 防人 ⑥ 大野 ⑦ 大津 ⑧ 天智

【】 壬申の乱

[問題](1 学期期末改)

次の文中の①，②に適語を入れよ。

天智天皇の死後，あとつぎをめぐって(①)の乱がおこった。この戦いに勝った大海人皇子は即位して(②)天皇となった。(②)天皇は，唐や新羅に負けないための国づくりを目指し，中国にならった律令や都，さらには歴史書を作るように命じた。また，政治の中心を飛鳥地方にもどした。(②)天皇の死後は，その皇后が持統天皇として即位し，日本ではじめての本格的な都である藤原京をつくるなどして，律令制度を実施する準備を整えた。

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 壬申 ② 天武

[解説]

大化の改新以来，30年近くも政治にあたった天智天皇(即位前は中大兄皇子)が死去した翌672年，天智天皇の子である大友皇子に対して，天智天皇の弟である大海人皇子が兵をあげて天皇の位をめぐる戦いが起こった。これを壬申

[壬申の乱](672年)

天智天皇の死後，天皇の位をめぐる争い
勝利した大海人皇子が即位 → 天武天皇
皇后の持統天皇：藤原京

の乱という。(無理な争い2人(672)でし) 大海人皇子は各地の兵力を結集して勝利をおさめ，大友皇子は自害して果てた。戦いに勝った大海人皇子は，即位して天武天皇になった。

壬申の乱によって，大友皇子側についた有力な中央豪族が没落したことで，強大な権力を手にした天武天皇を中心に中央集権国家体制の形成が進んだ。このころ，天皇の権威が高まり，神としてあがめようとする天皇の神格化が始まったとされる。天武天皇は，ふたたび飛鳥に都を移して律令や歴史書の編さんを命ずるなど，新しい政治のしくみを強力につくりあげていった。天武天皇の死後は，皇后であった持統天皇が事業を引き継いだ。持統天皇は，道路によってごぼんの目のように区画された，日本ではじめての本格的な都である藤原京をつくるなどして，律令制度を実施する準備を整えた。

※出題頻度：「壬申の乱◎」「大海人皇子△→天武天皇◎」「持統天皇△」「藤原京△」

[問題](2 学期期末)

天智天皇の死後，天皇の位をめぐる争いが起こった。次の各問いに答えよ。

- (1) この戦いを何というか。
- (2) この戦いに勝った大海人皇子は，即位して天皇となり，中央集権国家体制づくりをおこなった。この天皇の名を書け。
- (3) (2)の天皇の死後，皇后が即位して(2)の事業を引き継いだ。何という天皇か。
- (4) (3)の天皇がつくった日本ではじめての本格的な都の名前を答えよ。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

[解答](1) 壬申の乱 (2) 天武天皇 (3) 持統天皇 (4) 藤原京

[問題](2 学期中間)

次の人物カードを読んで、後の各問いに答えよ。

- A 私は(X)天皇の子どもです。父が亡くなると、おじの B とあとつぎをめぐって戦いましたが、敗北しました。
- B 私は(X)天皇の弟です。A との戦いに勝利して天皇に即位しました。
- C 私は(X)天皇の娘であり、B と夫婦です。B が亡くなると、私が天皇に即位して、新しい都を造りました。

- (1) カードに共通してあてはまる X の天皇の名前を書け。
- (2) カード A に「あとつぎをめぐって戦いました」とあるが、①この内乱を何というか。
②また、その内乱が起こったのは西暦何年か。
- (3) カード B の人物は①何という皇子か。②また、即位して何という天皇になったか。
- (4) カード C にあてはまる天皇の名前を答えよ。
- (5) C のカードの「新しい都」の名前を書け。

[解答欄]

(1)	(2)①	②	(3)①
②	(4)	(5)	

[解答](1) 天智天皇 (2)① 壬申の乱 ② 672 年 (3)① 大海人皇子 ② 天武天皇
(4) 持統天皇 (5) 藤原京

[問題](3 学期)

次の A～E のカードを、古い順番に並び替え記号で答えよ。

- A 天智天皇のあとつぎをめぐる争いが起こった。
- B 聖徳太子が推古天皇の摂政になった。
- C 白村江の戦いが起きた。
- D 蘇我蝦夷・入鹿が倒された。
- E 小野妹子が中国へ派遣された。

[解答欄]

--

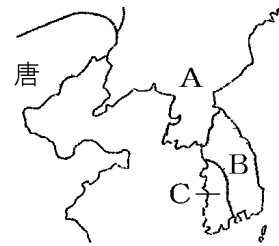
[解答]B→E→D→C→A

【】 総合問題

[問題](要点整理)

次の年表中の①～⑭に適語を入れよ。

年代	おもなできごと
587年	(①) (人物名)が対立する物部氏をほろぼす。
589年	(②) (王朝名)が中国を統一する。
593年	(③)が(④)天皇(女帝)の摂政という地位につき、(①)と協力して改革を始める。
603年	(⑤)の制度を定め、家柄にとらわれず(⑥)や功績のある人物を登用。
604年	(⑦)の憲法を定めて(⑧)の心得を示す。 一に曰く、(⑨)をもって貴しとなし、さからうことなきを宗とせよ。 二に曰く、あつく三宝を敬え。三宝とは(⑩)・法・僧なり。 三に曰く、(⑪)をうけたまわりては必ずつつしめ。
607年	(⑫) (人物)を中国の(②)に(⑬)使として送る。 (⑭)文化：日本で最初の(⑮)文化。(⑯)寺(右図)
618年	(②)が滅び、(⑰)が中国を統一する。
645年	(⑱)の改新：(⑲) (後に天皇)と(⑳)が、(㉑)氏をたおす。 (㉒)：土地と人民を国が直接支配する方針。
663年	(㉓)の戦い：(㉔) (右図の(㉕))を助けるために出兵し、唐と(㉖) (右図の(㉗))の連合軍と戦って敗れる。 唐や(㉖)の侵攻に備えるために九州北部に(㉘)城や大野城を築く。また、(㉙)という兵士を配置。 (㉚)が即位して(㉛)天皇となる。
672年	(㉜)の乱：(㉞)天皇の後継ぎの地位をめぐる内乱。(㉞)天皇の弟が勝って(㉟)天皇になる。 (㉞)天皇の死後、その妃が(㊱)天皇となり、(㊲)京を建設。



[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫
⑬	⑭	⑮	⑯
⑰	⑱	⑲	⑳
㉑	㉒	㉓	㉔
㉕	㉖	㉗	㉘
㉙	㉚	㉛	㉜
㉝	㉞		

[解答]① 蘇我馬子 ② 隋 ③ 聖德太子 ④ 推古 ⑤ 冠位十二階 ⑥ 才能 ⑦ 十七条
 ⑧ 役人 ⑨ 和 ⑩ 仏 ⑪ 詔 ⑫ 小野妹子 ⑬ 遣隋 ⑭ 飛鳥 ⑮ 仏教 ⑯ 法隆
 ⑰ 唐 ⑱ 大化 ⑲ 中大兄皇子 ⑳ 中臣鎌足 ㉑ 蘇我 ㉒ 公地・公民 ㉓ 白村江
 ㉔ 百濟 ㉕ C ㉖ 新羅 ㉗ B ㉘ 水 ㉙ 防人 ㉚ 天智 ㉛ 壬申 ㉜ 天武 ㉝ 持統
 ㉞ 藤原

[解答欄]

(1)	(2)	(3)①	②
③	④	(4)	
(5)			
(6)①	②ア	イ	ウ
③	(7)①	②	(8)
(9)	(10)		

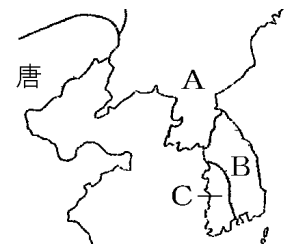
[解答](1) 蘇我馬子 (2) 隋 (3)① 推古天皇 ② 聖徳太子 ③ おい ④ 蘇我馬子
 (4) 冠位十二階 (5) 家柄にとらわれず，才能や功績のある人物を役人に取り立てること。
 (6)① 十七条 ②ア 和 イ 仏 ウ 詔 ③ 役人 (7)① 遣隋使 ② 小野妹子 (8) 法隆寺
 (9) 飛鳥文化 (10) 日本で最初の仏教文化である。

[問題](後期中間など)

次の年表を見て，後の各問いに答えよ。

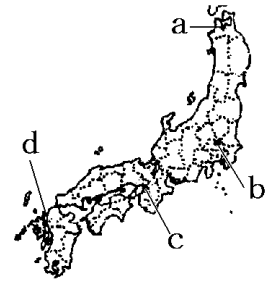
年代	おもなできごと
618年	隋が滅び，()が中国を統一する。…A
645年	()氏がほろぼされ，新しい政治の仕組をつくる改革が始まる。…B
663年	(ア)を助けるために出兵するが，唐と(イ)の連合軍に敗れる。…C
672年	天皇の位をめぐる内乱がおこる。…D

- (1) 年表中の A の()内にあてはまる王朝名を答えよ。
- (2) 年表中の B について，次の各問いに答えよ。
- ① ()内にあてはまる語句を答えよ。
 - ② この事件に始まる改革を何というか。
 - ③ B の中心人物のうち，後に天皇になった人物は誰か。
 - ④ B の中心人物のうち，後に藤原姓をたまわった人物は誰か。
 - ⑤ この改革によって，土地と人々を国家が直接支配する方針が示された。何という方針か。
- (3) 年表中の C について，次の問いに答えよ。
- ① アにあてはまる国名を答えよ。また，その位置を右図の A～C から選べ。
 - ② イにあてはまる国名を答えよ。また，その位置を右図の A～C から選べ。
 - ③ この戦いを何というか。



(4) 中大兄皇子は、C の戦いの後、水城と大野城、西日本の各地に山城を築いた。①その目的は何か。②大野城や水城が築かれた地域を右の地図中の a～d から 1 つ選び、記号で答えよ。

③また、この戦いの後、九州北部に配備された兵士を何というか。④中大兄皇子は都を大津宮に移し、即位して何という天皇となったか。



(5) 年表中 D の古代史上最大の内乱について、次の問いに答えよ。

- ① この内乱を何というか。
- ② この内乱に勝利をおさめた大海人皇子は即位して何天皇になったか。
- ③ ②の天皇の死後、その皇后が即位して事業を引き継いだ。何という天皇か。
- ④ ③の天皇がつくった日本ではじめての本格的な都の名前を答えよ。

[解答欄]

(1)	(2)①	②	③
④	⑤	(3)①国名：	位置：
②国名：	位置：	③	
(4)①			②
③	④	(5)①	②
③	④		

[解答](1) 唐 (2)① 蘇我 ② 大化の改新 ③ 中大兄皇子 ④ 中臣鎌足 ⑤ 公地・公民

(3)①国名：百済 位置：C ②国名：新羅 位置：B ③ 白村江の戦い

(4)① 唐や新羅の侵攻に備えるため。 ② d ③ 防人 ④ 天智天皇 (5)① 壬申の乱

② 天武天皇 ③ 持統天皇 ④ 藤原京

【FdData 中間期末製品版のご案内】

詳細は、[\[FdData 中間期末ホームページ\]](#)に掲載 ([Shift]+左クリック→新規ウィンドウ)

◆印刷・編集

この PDF ファイルは、FdData 中間期末を PDF 形式に変換したサンプルで、印刷はできないように設定しております。製品版の FdData 中間期末は Windows パソコン用のマイクロソフト Word(Office)の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。

◆FdData 中間期末の特徴

中間期末試験で成績を上げる秘訣は過去問を数多く解くことです。FdData 中間期末は、実際に全国の中学校で出題された試験問題をワープロデータ(Word 文書)にした過去問集です。各教科(社会・理科・数学)約 1800~2100 ページと豊富な問題を収録しているため、出題傾向の 90%以上を網羅しております。

FdData 中間期末を購入いただいたお客様からは、「市販の問題集とは比べものにならない質の高さですね。子どもが受けた今回の期末試験では、ほとんど同じような問題が出て今までにないような成績をとることができました。」「製品の質の高さと豊富な問題量に感謝します。試験対策として、塾の生徒に FdData の膨大な問題を解かせたところ、成績が大幅に伸び過去最高の得点を取れました。」などの感想をいただいております。

◆サンプル版と製品版の違い

ホームページ上に掲載しておりますサンプルは、印刷はできませんが、製品の全内容を掲載しており、どなたでも自由に閲覧できます。問題を「目で解く」だけでもある程度の効果をあげることができます。しかし、FdData 中間期末がその本来の力を発揮するのは印刷ができる製品版においてです。印刷した問題を、鉛筆を使って一問一問解き進むことで、大きな学習効果を得ることができます。さらに、製品版は、すぐ印刷して使える「問題解答分離形式」、編集に適した「問題解答一体形式」、暗記分野で効果を発揮する「一問一答形式」(理科と社会)の 3 形式を含んでいますので、目的に応じて活用することができます。

※[FdData 中間期末の特徴\(QandA 方式\)](#) ([Shift]+左クリック→新規ウィンドウ)

◆FdData 中間期末製品版(Word 版)の価格(消費税込み)

※以下のリンクは[Shift]キーをおしながら左クリックすると、新規ウィンドウが開きます

[社会地理](#)、[社会歴史](#)、[社会公民](#)：各 7,800 円(統合版は 18,900 円) ([Shift]+左クリック)

[理科 1 年](#)、[理科 2 年](#)、[理科 3 年](#)：各 7,800 円(統合版は 18,900 円) ([Shift]+左クリック)

[数学 1 年](#)、[数学 2 年](#)、[数学 3 年](#)：各 7,800 円(統合版は 18,900 円) ([Shift]+左クリック)

※Windows パソコンにマイクロソフト Word がインストールされていることが必要です。(Mac の場合はお電話でお問い合わせください)。

◆ご注文は、メール(info2@fdtext.com)、または電話(092-811-0960)で承っております。

※[注文→インストール→編集・印刷の流れ](#)、[※注文メール記入例](#) ([Shift]+左クリック)

【Fd 教材開発】 Mail : info2@fdtext.com Tel : 092-811-0960